

問 私の地域でも「空き家の雑草の処理」で生活安全課に仲介をお願いした。市の空き家の状況はどうか。空き家の苦情の窓口はどこになるのか。空き家条例が必要な時期にきているのではないか。

答 市長 以前とは情勢が大きく変化しました。三病院（筑西市、協和中央、県西総合）の枠組みによる再編・統合の協議に参加をしたい。市は医療機関が少なく、県西病院は必ず存続させていくという条件で参加します。



県西総合病院処置室

問 九月議会で議会構成が変わり、新議長になった。新議長は、茨城新聞紙上で「中核病院の道筋をつけたい」と語っている。筑西市は、協和中央病院を視野に入れた統合を模索している。このような新しい状況の中で、市長は中核病院についてどのように考えているのか。

答 市民生活部長 市内の空き家は、岩瀬地区が一七三棟、大和地区が七十七棟、真壁地区が一九七棟です。空き家の相談は、一括して生活安全課が受け付けます。空き家条例は、対策協議会を立ち上げ、条例化の検討を進めていきます。



菊池伸浩 議員

新中核病院と県西総合病院の行方

問 女性の社会進出が進み、六年生までを対象とする自治体が多い。六年生までの引き上げは、異学年交流が深まりいじめ対策にもなる。実際に子育て支援にかかわっているが、一年生から六年生まで見て

答 保健福祉部長 現在の学童保育の対象児童は三年生までです。定員数の三十名に達していないクラブでは四年生までお預かりしていますが、六年生までは難しい状況です。

問 保護者から、学童保育の受け入れを六年生までに拡大してほしいという要望がある。お母さんが安心して、出産・子育てできる体制をつくっていくには、六年生までの学童保育は、ますます必要になる。特に若い夫婦が生き生きと働ける地域づくりが最大の課題と考える。今後の方針を伺う。

答 保健福祉部長 次世代育成支援行動計画を作成。充実を図り二十七年に向けて、六年生までできるよう鋭意検討していきます。



市村 香 議員

桜川市の学童保育の実態は

問 近隣自治体の状況は、筑西市・笠間市は定員に空きがあれば六年生まで受け入れており、結城市・石岡市は六年生まで受け入れています。

答 市長 少子化時代の中、当然地域の義務と考えているので、そういうものがあれば、積極的に取り組んでいきたい。

その他の質問
・小中学校適正規模検討委員会での進捗状況

審議された議案と結果

第4回定例会 (12月11日～13日)

●専決処分の承認

- 承認 ・平成24年度一般会計補正予算(第3号)
- 承認 ・平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 承認 ・平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 承認 ・平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 承認 ・平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

●条例の制定・改正

- 可決 ・施設の使用料の減免規定の統一化のための関係条例の整備に関する条例
- 可決 ・防災会議条例の一部改正
- 可決 ・災害対策本部条例の一部改正
- 可決 ・手数料徴収条例の一部改正
- 可決 ・公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- 可決 ・いこいの家設置及び管理等に関する条例の全部改正

●補正予算

- 可決 ・平成24年度一般会計補正予算(第4号)
- 可決 ・平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 可決 ・平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 可決 ・平成24年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 可決 ・平成24年度水道事業会計補正予算(第1号)

●人事・指定管理者・その他

- 適任 ・人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(2件)
- 可決 ・指定管理者の指定(2件)
- 可決 ・字の区域の変更

●議員提出議案

- 可決 ・議会委員会条例の一部改正
- 可決 ・議会会議規則の一部改正

第5回臨時会 (11月15日)

- 可決 ・平成24、25年度(仮称)桜川市立北学校給食センター-改築工事請負契約